



柏教ス第500号

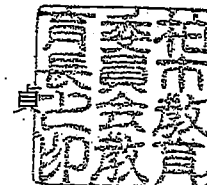
平成29年7月20日

柏市スポーツ推進審議会

会長 様

柏市教育委員会

教育長 河 鳶



柏市における将来的なスポーツ施設のあり方について  
(諮問)

このことについて、柏市スポーツ推進審議会条例第2条の規定により下記の事項について貴審議会の御意見を賜りたく諮問します。

記

1 諮問事項

柏市における将来的なスポーツ施設のあり方に関する調査審議

2 諮問理由

昭和35年から平成2年にかけて急速に人口が増加した本市において、これまで整備してきた公共施設の老朽化やその機能を適正に保つための維持更新費用の集中は喫緊の課題となっています。

スポーツ施設も同様の課題を抱えており、市民の生涯にわたるスポーツライフに大きく関わってくる問題であります。

こうした中、平成28年3月に「第2期柏市スポーツ推進計画」を策定し、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現に向けて施策を進めています。この計画では、重要な取り組みとしてソフト面の環境づくりを進めています。しかし、そのソフト面を支える活動拠点の整備は、生涯スポーツ振興に欠かせない要素です。

こうしたことから、将来のスポーツ施設のあり方の方向性や整備等に関する基本的な考え方を示すことが求められています。

# 答 申 書

柏市における将来的なスポーツ施設のあり方について

平成 3 1 年 2 月 2 0 日

柏市スポーツ推進審議会

はじめに

平成28年3月に策定された柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」では、今後、少子高齢化が一層進むことによる人口構成の変化、また、公共施設の改修や維持管理に巨額な費用が必要と予測、試算されています。

このような中、次世代を担う子どもたちをはじめ、高齢者や障がい者を含め、市民の多くが生涯にわたってスポーツに親しむことのできる施設の配置が求められています。本審議会では、平成29年3月に国が策定した第2期スポーツ基本計画の趣旨を踏まえ、現在のスポーツ施設の現状・課題を整理したうえで、既存公共施設の有効活用や新たに求められる施設について、別添の資料等に基づき検討を重ねた結果を取りまとめたものです。

#### (1) 他施設の活用と用途転用

柏市のスポーツ施設数は県内で2番目に多く、施設数としては十分足りているものの、対応種目(用途)が限定(指定)されたスポーツ施設も多く存在します。既存のスポーツ施設以外の公共施設を利用者ニーズに合わせた運用形態の転用を検討していくことが必要です。

また、近隣センターや公園施設等、スポーツ以外でも地域における様々な用途での利用が可能な施設を、健康づくりやスポーツ活動に供することができる施設として位置づけ、市民スポーツの多様なニーズに応じていくことが必要です。

#### (2) 身近にスポーツができる施設の整備

高齢者の健康づくりや体力づくりに対する意識は高く、スポーツ活動を通じて生きがいや人との交流を深める場となっています。また、近年、障がい者スポーツへの関心も高まっており、障がい者のスポーツ活動の支援、推進が求められています。こうした高齢者や障がい者に配慮して、地域住民の身近なスポーツ活動の場として運動広場を位置づけ、用途を細かく設定せず、多目的に利用できる施設を市内にバランスよく整備していくことが必要です。

#### (3) 集客力のあるスポーツ施設の整備

建設費や運営費に対する財政負担などの懸念はあるものの、駅周辺の良いアクセスが可能な場所に、集客力のある質の高いスポーツやその他のイベントが開催できる正式な規格のスタジアム・アリーナを整備して、スポーツ振興のみならず、経済的効果や地域活性化の効果及び柏市のシンボリックな総合施設の整備を期待します。

整備計画策定にあたっては、PPP/PFIをはじめ、その他の官民連携手法の導入検討や他市の導入事例の情報収集に努め、地域性を考慮した実効性のある計画策定を期待します。

#### (4) 手賀沼周辺の活用と整備

柏市の観光資源である手賀沼周辺には豊かな自然環境のもと、温泉施設、道の

駅などがあり、水上スポーツやジョギング等を楽しむ市民が増えています。手賀沼周辺で開催されるマラソン大会や花火大会、トライアスロン等には市外、県外からの参加も見られます。このようなスポーツ利用者やイベント参加者をはじめ、野外活動やレクリエーション等で利用可能な多目的広場や休憩所等の設備を整備することにより、スポーツなどを通じて地域の活性化を促進することが必要です。

#### (5) 近隣市との連携

将来の少子高齢社会、人口減少社会への移行に伴い、柏市のみならず各自治体でもスポーツ施設の整備や維持管理に必要な財源が減少することが想定されます。そこで、近隣市と共同して施設を整備・運営していく検討をはじめ、競技人口や利用者の少ないスポーツ施設を互いに利用・運用できる仕組みや、大規模なスポーツ大会等は、複数の自治体がスポーツ施設を相互利用できるような仕組みや環境を整備することが必要です。

#### (6) 県立柏の葉公園のスポーツ施設の活用

市スポーツ施設以外の効果的な利用促進を図るため、千葉県立のスポーツ施設を最大限に有効活用していく必要があります。特に、柏市の既存施設では、トラック競技を中心とした陸上競技場及び硬式野球場がないため、県立柏の葉公園総合競技場や野球場を活用することで、活動の場を確保していくことが必要です。

#### (7) 学校体育施設の活用

学校のグラウンドや体育館は、地域の身近な運動施設として貴重な施設です。今後、子どもから高齢者に至るまで、スポーツをより身近なものとしてもらうため、学校体育施設の教育機能の確保を前提としつつ、小中学校の更なる効率的な地域開放を推進していく必要があります。また、健康増進や介護予防等の拠点として、小中学校の空き教室を活用していくことが必要です。

#### (8) 民間スポーツ施設との連携や活用

スポーツ人口の拡大及び市民のスポーツ活動を活性化するために、市と民間企業が連携し、市民へスポーツ活動の場を提供していく必要があります。種目やニーズに応じて民間の得意とする分野は民間に委ね、サービス提供の主体を公から民間へ転換していくほか、民間施設の借り上げについても検討していくことが必要です。今後、さらに民間スポーツ事業者との連携、協力していくことが必要です。

### 結びに

将来的なスポーツ施設の配置については、既存施設の統廃合や複合化等による施設数の見直しは必要です。一方、財政負担を伴うものの、新たなスポーツ施設の整備は必要であるという結論に至りました。今回の答申を踏まえ、スポーツ施設の整備計画が策定されることを期待します。

## 柏市における将来的なスポーツ施設のあり方について

資 料

## 資料目次

① 答申の経緯と目的	5
② スポーツ施設に関する現況と課題	6
③ 答申に当たっての考え方, ポイント	8
④ 柏市スポーツ推進審議会 委員名簿	10
⑤ 柏市スポーツ施設一覧	11

① 答申の経緯と目的

柏市のスポーツ施設は、昭和40年代から50年代に整備された施設が多く、築30年以上が経過しており、老朽化の問題を抱えています。

今後、少子高齢社会と人口減少が加速していく時代が到来しつつあり、以前のような拡大基調を前提とした施設整備の考え方を見直さなければならない時期にあります。

人口全体に対する高齢人口の割合が上昇する一方で、生産年齢人口と年少人口の割合が低下することが見込まれることから、将来的な財源不足も想定されます。

そのような中で、市民のスポーツ活動を施設面から支援していくためには、耐用年数を迎える公共スポーツ施設について、計画的かつ効果的な再整備をいかに行なっていくかが緊急の課題となっています。

このため、柏市における将来的なスポーツ施設のあり方について、明らかにするものです。

市民の健康づくりや生きがいづくりに対する意識は高まりを見せており、スポーツの果たす役割・意義はますます重要になってきています。

柏市では、スポーツの推進を総合的・効果的に推進するため、平成19年3月に「市民が自らスポーツを楽しみ健康で生きがいを感じるまちづくり＝市民創スポーツ」を基本理念とする柏市スポーツ振興計画（現第2期柏市スポーツ推進計画）を策定し、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現を目指して、「する・みる・ささえる」をスポーツ活動推進の柱とした各種事業を展開しているところです。

しかしながら、今後の問題として、市の財源不足が想定される中であって、既存のスポーツ施設の多くが老朽化しており、限られた経営資源の中で、スポーツ施設としてのサービスを将来にわたり持続的に提供するためには、財政状況や社会情勢の変化を考慮しながら、適正に管理していく必要があります。

このため、柏市のスポーツ施設の現状や課題を整理したうえで、利用者ニーズに対応した将来の望ましいスポーツ施設のあり方について、考え方をまとめるものです。

## ② スポーツ施設に関する現況と課題

スポーツ施設の今後の方向性を探るため、スポーツ施設に関する現況と主な課題を整理します。

### 1 スポーツ施設の現況

#### (1) スポーツ施設の水準

柏市のスポーツ施設の概要は別紙資料のとおりですが、千葉県公立社会体育施設現有数で比較すると、千葉県内37市の内、千葉市について2番目に多い68施設数となっています。(平成29年度千葉県公立社会体育施設調査)

#### (2) 運動習慣及び生涯スポーツの意識

柏市スポーツ振興計画の策定時(平成18年度)から第1期柏市スポーツ推進計画(平成22年度)、第2期柏市スポーツ推進計画の策定時(平成26年度)に、基礎資料となるアンケート調査を実施しています。定期的(週1回以上)にスポーツを実施する人の割合は、全国的には増加していますが、柏市全体としては、平成22年度のアンケートにおいては増加しましたが、平成26年度のアンケートでは減少しています。

(成人以上の実施率)

	平成18年	平成22年	平成26年
全国	38.5%	45.9%	47.5%
柏市	33.6%	43.4%	40.1%

これまでは、スポーツ=競技スポーツというイメージが強かったのですが、アンケート調査の設問「実施しているスポーツ」では、成人以上の全ての年代でウォーキングや散歩など比較的簡単に取り組める軽いスポーツが上位を占めています。

これからは、このような市民のニーズに対応できる施設整備が求められてくると考えられます。

#### (3) 財政状況を踏まえた施設整備

今後の財政収支の見通しでは、平成27年度一般会計当初予算をベースに、歳入・歳出ともに現行制度が続くことを前提とし、道路や学校、公園などの整備費はこれまでと同規模程度に保全するものとした場合、歳入については、少子高齢化の進行、生産年齢人口(15~64歳)の減少局面にあるものの、つくばエクスプレス沿線の整備により、市税収入は2025年まで横ばい又は微増で推移する見通しです。

歳出については、高齢化を背景に医療や介護、生活保護などの社会保障費は今後も増加する見通しです。また、昭和40年代から50年代に整備された都市基盤や公共施設の老朽化が進行し、維持・更新費の増大が見込まれます。



(歳入・歳出の財政見通し)

単位：億円

区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
歳入	1,222	1,212	1,230	1,240	1,259	1,257
歳出	1,222	1,219	1,238	1,241	1,261	1,265
収支	0	-7	-8	-1	-2	-8

※この「歳入・歳出財政見通し」は、平成27年度に予測・作成したものです。(柏市公共施設等総合管理計画「施設白書編」)

(歳入・歳出の決算額の推移)

単位：億円

区分	H25	H26	H27	H28	H29
歳入	1,156	1,206	1,308	1,270	1,293
歳出	1,096	1,151	1,265	1,218	1,239
収支	60	55	43	52	54

#### (4) 指定管理者による管理運営

柏市のスポーツ施設(運動広場を除く)は、平成18年度より指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上はもとより、効率的な管理運営に取り組んでいます。平日の日中の利用頻度が低い施設が多くあり、懸案となっています。

施設サービスの満足度を高め、何度でも利用したくなる施設にしていくために、市民からのニーズに応じていく管理運営方法の見直しや、スポーツメニューなどを充実させていく必要があります。

## 2 スポーツ施設の課題

### 施設の老朽化とユニバーサルデザインの導入

各施設については、安全にスポーツができるよう適切な維持管理を行っていますが、既存の公共スポーツ施設のほとんどが建築後30年を超えています。

今後、大規模な改修工事を必要とする施設が増えてくるため、維持・修繕に相当の予算を投じなければならないことが見込まれます。また、スポーツ基本法の基本理念のひとつに障がい者への配慮が規定されています。障がい者をはじめ、子どもや高齢者など、すべての人にできるかぎり使いやすいユニバーサルデザインを導入する必要があります。

さらに、附帯設備についても公式基準や規格を満たしていない施設が増えてきており、これらの対応が求められています。

### ③ 答申にあたっての考え方, ポイント

#### 1 施設整備の基本方針

原則として、既存施設の計画的な改修を進める中で、新たなニーズに対応した施設整備を図っていくこととします。

その上で、各施設の現状や市民ニーズを把握し、以下の3つの方針を基本として、今後の施設整備を進めていくものとします。

##### (1) 廃止・転用・集約化を検討する施設

規模や機能において市民ニーズに対応できず、また、経年劣化が著しく、部分改修などでは安全性が確保できない施設で、修繕を繰り返すよりも管理運営において財政負担の軽減が図れるものについては、安全を確保するための必要最低限の維持管理を行いながら、スポーツ施設としての廃止あるいは他の施設への転用や集約化、処分を検討していくものとします。

##### (2) 今後も機能の充実等を図る施設

廃止等を視野に入れた施設を除く全ての既存施設を対象とし、適切な修繕・改修を行いながら施設の機能維持に努めるとともに、指定管理者と連携しながら機器・備品等の充実に取り組み、利用促進を図っていくものとします。

##### (3) 新たに整備する施設

施設の部分改修では補えない特定種目の専用施設、配置バランスや立地条件などから新たな施設整備が求められる施設については、その必要性を十分に検討し、市民ニーズを踏まえた施設として新設するのか、建て替えなのかなど、優先順位をつけながら、財政状況を勘案する中で計画的に整備を進めていくものとします。

#### 2 施設整備の視点

既存施設をもっと効果的に活用し、施設利用の可能性を最大限に引き出すため、次の視点で今後の整備を進めていくものとします。

##### (1) 誰もが安心安全で、快適に利用できる施設

スポーツ施設は「安全である」ことが最優先です。施設の老朽化が問題となっていることから、安全性を確保するための維持管理や改修工事を最優先に行うものとします。

また、子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、だれもが快適に利用できる環境が重要なことから、ユニバーサルデザインの導入や設備環境についても、計画的に整備を進める必要があります。

## (2) 多様化するニーズに対応した施設

スポーツ施設は、健康づくりや地域スポーツといった身近なものから、競技スポーツなど様々に利用されていますが、そのニーズはますます多様化し、スポーツ活動の場としてだけでなく、コミュニティや憩いの場としても利用されています。

このような利用者のニーズに応じた機能の追加など、多目的に利用できるような工夫・改善を行う必要があります。

## 3 管理運営の考え方

柏市では、経費の縮減と市民サービスの向上を図るため、指定管理者制度を導入しましたが、施設の中には、利用効率の低い施設や平日の日中に利用者が少ない施設があります。施設利用の可能性を最大限に引き出すためには、整備を進めるだけでなく、教室事業の充実などソフト面からも既存施設の利活用を図るものとしします。

### (1) 利用の促進

指定管理者と協働しながら、平日の利用の少ない施設や利用の少ない時間帯あるいは会議室など普段は使用されていないスペースを活用し、市民の関心が高い健康増進や体力づくりなど、高齢者や女性あるいは親子で楽しめるソフト事業を実施することにより、利用の機会や新たな利用者の拡大を図る必要があります。

### (2) 管理運営コストの適正化・効率化

経費の縮減を図ることは重要ですが、市民サービス及び施設利用サービスと経費とのバランスを考慮し、管理運営コストの適正化を図る必要があります。

また、公共施設には、法の遵守はもとより、先の東日本大震災による原発事故を受けて積極的な「省エネルギー」への取組みが求められています。指定管理者と連携しながら、サービスの向上とともに「いつ」「どこで」「どれだけ」エネルギーが使用されているのか、そこに無駄がないかを検証して、効率的な管理運営に努めるものとしします。

### (3) 利用料金の適正化

施設を維持管理するには多くの費用が必要であり、利用者に公平な負担を求める受益者負担の考えが基本原則です。

このため、柏市の受益者負担の適正化基準に基づき、施設提供サービスに見合う適正な利用料金の見直しが必要です。

④ 柏市スポーツ推進審議会 委員名簿

氏名	選出区分	職等	備考
林 英 聖	学識 経験者	千葉県小中学校体育連盟柏支部支部長 (柏市立柏第五中学校長)	
長谷川 伸 平	学識 経験者	柏市小中学校長会研修部長 (柏市立豊四季中学校長)	
内 藤 久 士	学識 経験者	順天堂大学 スポーツ健康科学部 学部長	副会長
藤 原 昌 樹	学識 経験者	川村学園女子大学 生活創造学部 生活 文化学科 学科長	
松 本 眞 一	学識 経験者	一般社団法人 生涯スポーツ社会創成研 究所理事・上席研究員	
菊 池 平 治	関係団体 の代表者	一般社団法人 柏市体育協会 理事	
野 呂 直 子	関係団体 の代表者	柏市民健康づくり推進員連絡協議会 副会長	
吉 川 良 子	関係団体 の代表者	柏市スポーツ推進委員協議会 会長	
高 橋 剛	関係団体 の代表者	公益財団法人 吉田記念テニス研修セン ター 所長	
片 山 忠	関係団体 の代表者	柏フィットネス振興会 会長	
露 木 循	関係団体 の代表者	柏市スポーツ少年団 本部長	
阿 部 正 視	医師又は 歯科医師	一般社団法人 柏市医師会 議長	会長
志 賀 元	医師又は 歯科医師	一般社団法人 柏市医師会 理事	
石 塚 美 恵	その他	公募委員	

【任期：平成29年(2017)7月1日から平成31年(2019)6月30日まで 2年間】

⑤ 柏市スポーツ施設一覧

区分	No	名称	面積㎡	開設年月	施設概要
運動場	1	柏市富勢運動場	71,033	S44.7	野球場 4 面, 庭球場 12 面, 多目的広場
	2	柏市逆井運動場	37,390	S59.8	庭球場 10 面, 多目的広場, 自由広場, ゲートボール場
	3	柏市柏の葉庭球場	31,640	H4.4	庭球場 8 面
	4	柏市宮田島運動場	15,618	H7.4	野球場, フットサル場 2 面, ゲートボール場
	5	柏市塚崎運動場	29,945	S55.8	野球場, 庭球場 2 面, 多目的広場
	6	利根運動場	98,214	S55.8	野球場 4 面, サッカー場 2 面
	7	柏の葉運動場	15,236	H18.6	多目的広場
	8	新十余二第一公園多目的広場	11,500	S47.10	多目的広場
	9	新十余二第二庭球場	1,692	S47.10	庭球場 3 面
	10	松葉第一近隣公園野球場	10,000	S56.10	野球場
	11	松葉第二近隣公園庭球場	2,700	S56.10	庭球場 3 面
	12	手賀の丘公園	17,154	S62.4	野球場(多目的・サッカー), 庭球場 6 面, ゲートボール場 2 面
	13	しいの木台公園庭球場	1,460	H8.11	庭球場 2 面
	14	大津ヶ丘中央公園	8,480	S51.5	野球場, 庭球場 3 面
プール	15	柏市ひばりが丘市民プール	5,787	S43.7	50mプール, 25mプール, 幼児プール
	16	柏市逆井市民プール	2,765	S59.8	25mプール, 幼児プール
	17	柏市船戸市民プール	9,115	S58.7	流水プール, スライダー, 幼児プール
	18	柏西口第一公園市民プール	2,243	S45.8	25mプール, 幼児プールA・B
	19	大津ヶ丘中央公園市民プール	1,730	S53.7	25mプール, 幼児プール
体育館	20	柏市中央体育館	17,343	S52.4	アリーナ, 柔道場, 剣道場, 幼児体育室, 小体育館, トレーニング室, ランニングコース, 会議室, 弓道場, 相撲場
	21	柏市沼南体育館	17,484	H6.9	アリーナ, 柔道場, 剣道場, 研修室, トレーニング室, スポーツサウナ, フットサル場, 弓道場
運動広場	22	名戸ヶ谷運動広場	27,172	S55.8	多目的広場
	23	船戸運動広場	2,780	S55.9	多目的広場
	24	逆井運動広場	6,564	S57.4	多目的広場
	25	山高野運動広場	8,130	S58.7	多目的広場
	26	高田運動広場	11,404	S59.1	多目的広場
	27	柏ビレジ運動広場	19,869	H2.9	多目的広場
	28	中の橋運動広場	1,470	S53.6	庭球場 2 面